

「在宅栄養支援に関するアンケート」結果報告

栄養大阪 2018 年 7 月号に同封した「在宅栄養支援に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。送付した 3,052 名のうち 149 名から回答がありました（回収率 4.9%）。以下に結果を報告します。

回答があった 149 名（管理栄養士 141 名・栄養士 8 名）の所属部会は、地域活動 59 名、病院 52 名、福祉 25 名、その他各部会から 1～3 名でした。問 1 から問 3 までの結果を見ると、回答者のほぼ全員が在宅療養者を訪問し、栄養食事指導（支援）を行えることを知っていると答えています。居宅療養管理指導に携わっているものは 23 名（15%）、在宅患者訪問栄養食事指導に携わっているものは 13 名（8%）となっており、制度は知っているが従事が進んでいない状況が分かりました。現在、携わっていないもののうち、96 名（70%）が従事を希望しています。53 件の自由記述（複数の内容あり）では、在宅栄養支援を希望する内容（25 件）、在宅支援の方法が分からない（12 件）、栄養士会への要望（10 件）、在宅栄養支援への不安（5 件）となっており、今後、大阪府栄養士会は会員が在宅栄養支援に貢献できるような体制をつくり、大阪府全域に広めていく必要があると考えます。問 5、問 6 の地域での多職種での会議や総合事業は 60～70%が知っており、知っている人のうち 30 名以上（約 35%）が参加していると答えています。全体から見れば、参加している数は多くないものの、管理栄養士・栄養士が地域包括ケアの一員として参加が進みつつある状況がうかがえます。

今回のアンケートの目的は、在宅栄養支援に携わる管理栄養士・栄養士の把握を行い、地域包括ケアを担う多職種に向けて、管理栄養士・栄養士の存在を示し、連携および協働を進めていくためのものです。結果から現在、在宅栄養支援に携わっている会員の所在を明らかにし、府民及び多職種へ存在を示し、地域のニーズに応えられるように準備を進めます。同時に在宅栄養支援に従事を希望する会員が活躍できるように、帳票類の整備・記入方法など事務的な支

援、臨地研修などの支援体制を整えたいと考えています。

今回のアンケートに連絡先を記載いただいた皆さんには、必要に応じてご連絡いたします。今回のアンケートに回答いただけなかった方、連絡先を記載されなかった方も、今後の連絡を希望される方は、大阪府栄養士会事務局までお知らせください。

在宅栄養支援に関するアンケート集計結果 () 内は%

問1 管理栄養士が在宅療養者を訪問し、栄養食事指導（支援）を行えることを知っていますか。

知っている	知らない
148 (99)	1 (1)

問2 現在、管理栄養士による居宅療養管理指導（介護保険）に携わっていますか。

携わっている	携わっていない	無回答
23 (15)	125 (84)	1 (1)

問3 現在、在宅患者訪問栄養食事指導（医療保険）に携わっていますか。

携わっている	携わっていない	無回答
13 (8)	135 (91)	1 (1)

問4 問2・3「2.携わっていない」のうち、今後携わりたいですか。

携わりたい	携わりたくない	無回答
96 (70)	23 (17)	18 (13)

問5-1 地域ケア会議や多職種で行う会合を知っていますか。

知っている	知らない	無回答
107 (72)	40 (27)	2 (1)

問5-2 「知っている」うち、参加しているかどうか。

参加している	参加していない	無回答
36 (34)	64 (60)	7 (6)

問6-1 地域の総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）を知っていますか。

知っている	知らない	無回答
91 (61)	55 (37)	3 (2)

問6-2 「知っている」うち、参加しているかどうか。

参加している	参加していない	無回答
33 (36)	49 (54)	9 (10)